



2024年度阪神高速若手研究者助成の決定について

阪神高速道路株式会社（大阪市北区、代表取締役社長：吉田光市）は、一般財団法人阪神高速先進技術研究所及び一般財団法人阪神高速地域交流センターとともに、若手研究者の育成に寄与する社会貢献の一環として、2018年度から「阪神高速若手研究者助成基金」を設け、公募のうえ助成金を支給しています。

2024年度については、2024年5月24日から7月19日まで公募を行い、構造、交通および情報科学などの幅広い分野から計12件の応募をいただきました。これらを社内選定委員会において厳正に審査した結果、次の4件の研究（計約600万円）に助成することを決定しました。

研究課題名	所属	職名	氏名
金属溶射を用いた鋼橋溶接部の力学的長寿命化に関する研究	宮崎大学 工学教育研究部土木環境工学プログラム	特別助教	堀澤 英太郎
鋼管杭の鉛直支持力向上に対するMICP法の適用性に関する研究	広島大学大学院 社会基盤環境工学	准教授	木戸 隆之祐
高精度位置推定システムのための異種センサ情報照合AIの構築	愛知工科大学 工学部情報メディア学科	助教	久徳 遙矢
道路橋杭基礎の動的設計法の確立に向けた限界状態の提案	富山大学 学術研究部都市デザイン学系	准教授	河野 哲也

研究課題名の50音順

なお、これらの研究成果については、2026年6月頃、HP等で公表する予定です。